

環境方針

2008年度からは富士通マイクロエレクトロニクス統合環境マネジメントシステムの活動を開始しましたので、従来の拠点(工場)の方針を掲げず、富士通マイクロエレクトロニクスの方針に基づいた活動を推進しています。

■ 基本理念

私たちは、先進の技術で環境性能に優れた半導体デバイスを提供し、お客様とともに豊かな地球環境の保護に貢献します。

■ 行動指針

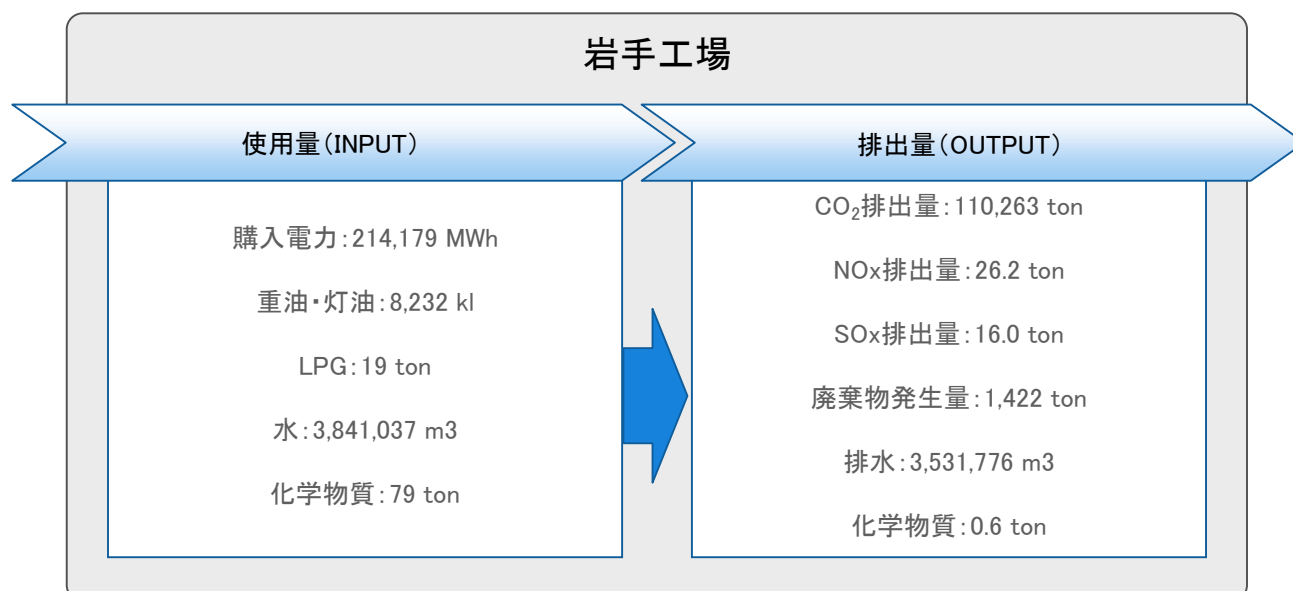
私たちは、以下の指針により

開発/調達/生産/販売/使用/廃棄にいたる全てのライフサイクルで、環境負荷の低減と地球環境汚染の予防に努めます。

1. スーパーグリーン製品の開発を積極的に推進することにより、製品の環境性能を向上させ、お客様及び地球環境の負荷低減に積極的に貢献いたします。
2. 地球温暖化対策を積極的に推進し、温室効果ガス(CO₂,PFCs)の排出を削減します。
3. 化学物質の適正管理を積極的に推進し、VOC(揮発性有機化合物)の排出を削減します。
4. 廃棄物の発生量削減、及び適正な再資源化を積極的に推進します。
5. グローバルな視点で環境関連法規制、及びお客様とのお約束を順守します。
6. よき環境市民となるべく、社員ひとりひとりの環境意識の向上を図ります。
7. 環境マネジメントシステムの有効性、透明性の拡大を進め、継続的な改善と発展を図ります。

環境負荷データ

■ 環境負荷と事業活動



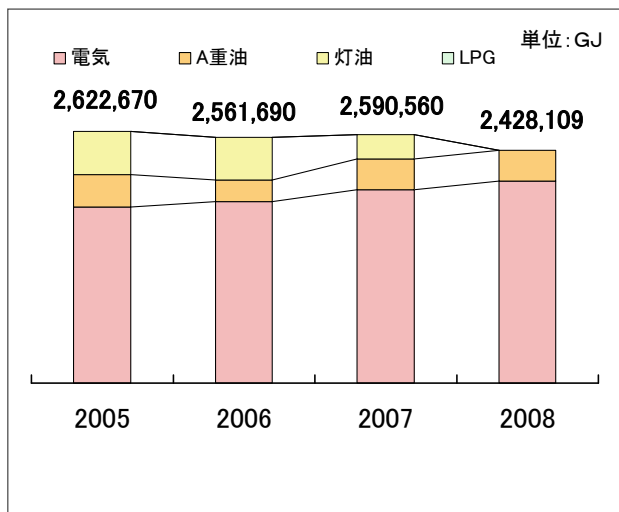
■ (補足) 化学物質の算出方法について

INPUT: 工場におけるPRTR法の対象とされる化学物質の使用量。

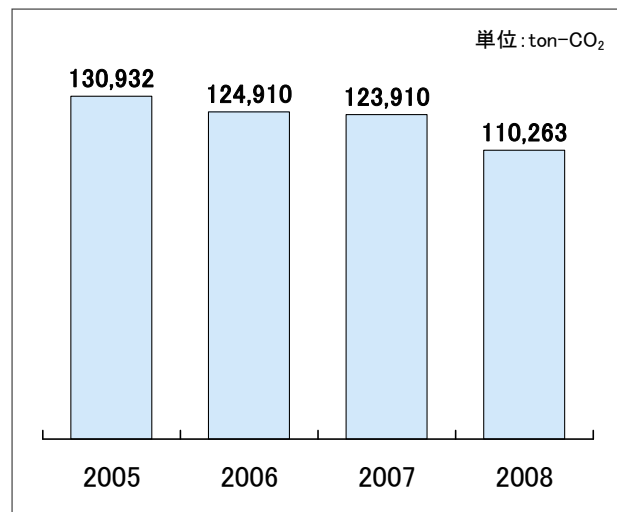
OUTPUT: PRTR法の対象とされる化学物質の工場の排水口や排気口から排出される濃度を測定し、総排出量または総排気量を乗じて算出、あるいは化学物質の収支量に基づき算出。

環境負荷データの経年推移

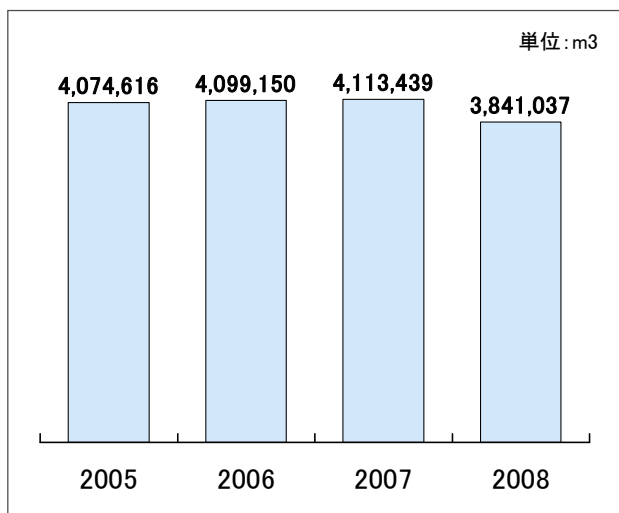
■ エネルギー消費量



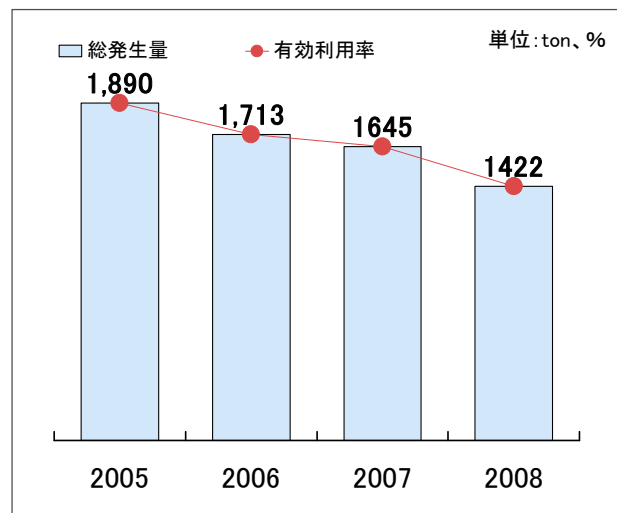
■ CO₂排出量



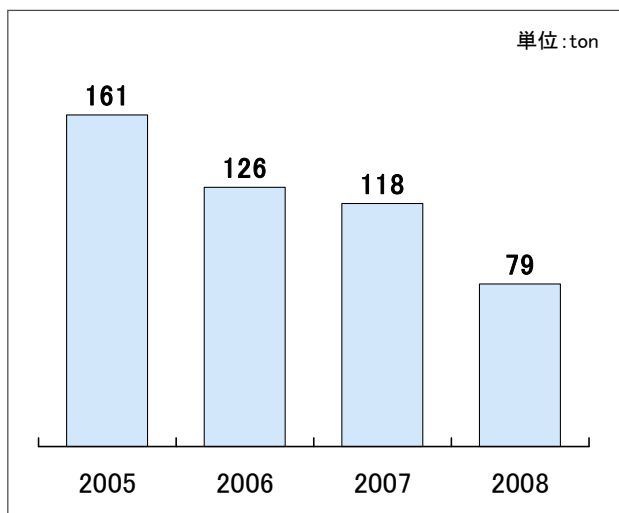
■ 水の使用量



■ 廃棄物発生量



■ 化学物質使用量



【主な増減要因】

- ・エネルギー消費量の減少は、コージェネレーションシステム (CGS) の停止による油の使用量減少によるものです。
- また、CO₂排出量の削減分のうち 3,200t (23%) はコージェネレーションシステム (CGS) 停止によるものです。